

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

クレジット事業者として社会的責任を全うするため、公正な取引や個人情報の保護等を厳正に行いながら、地域と共に持続可能な社会を創るため、「環境負荷の軽減」「人権や多様性への配慮」「地域活性化への貢献」に継続して取り組む企業を目指す。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☒ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	顧客への請求書及び社内文書のペーパーレス化	請求書及び社内文書使用量:2026年に10%削減(2023年比)
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	従業員の能力開発・教育訓練の機会の提供による人材育成	国家資格等各種資格試験合格者数:2026年に10%増(2023年比)
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	キャッシュレスの普及による地域経済の活性化	キャッシュレス取扱店舗数:2026年に20%増(2023年比)

<パートナーシップ>

収益の一部を地域社会(行政機関、地域の医療機関、地元プロスポーツクラブ等)に寄付する商品の開発・運営や、社員の自主的な活動による「献血への協力」「事業所周辺の清掃活動」等について継続して取り組んでいきたい。

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
 ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。
 ・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関するこれまでの重点的な取組み及び指標に係る進捗状況>

三側面 (分野に☑)	取組みの状況	前期の指標	実績
☒ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	・顧客への請求書及び社内文書のペーパーレス化 → 請求書のWEB化を推進したことが主因となり目標を達成できた。	請求書及び社内文書使用量:2023年に20%削減(2020年比)	20%削減(2020年比)
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	・各種ハラスメント防止を目的とした社内規定を定め、相談窓口を設置 → 対応済み。	規定策定及び相談窓口設置:2023年に実施(2020年未実施)	2022年2月に社内規定の追加及び相談窓口を設置済み
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	・キャッシュレスの普及による地域経済の活性化 → インバウンド対応等によるコード決済ニーズの高まりが主因となり目標を達成できた。	キャッシュレス取扱店舗数:2023年に20%増(2020年比)	24%増(2020年比)

・「取組みの状況」には、前回登録申請した際の重点的な取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。